

広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター
事業報告
2013（平成25）年度

広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター
2014（平成26）年6月

はじめに

水産海洋技術センターでは昨年度（平成25年度）、「選択と集中」の考え方の下に早期の成果発現を目指す重点研究領域、及び地域経済に大きなインパクトを与えることが期待できる戦略研究領域において、戦略研究領域「かき生産技術高度化」では事前研究「殻付かきの高付加価値化技術の開発」（H25）、重点研究領域「かき」では研究成果移転促進事業「むき身かき鮮度保持技術の成果移転促進」（H25）に取り組みました。また重点研究領域「地先定着型魚種」では総合技術研究所の東部工業技術センター等の他センターとともに戦略研究「特殊LED照明が県内多くの産業に波及するための研究」（H25～27）に取組んだ他に、開発研究「地域ブランド化に結びつくウマヅラハギの蓄養・養殖技術の開発」（H24～26）、更にH24年度に実施した研究成果移転促進事業「漁獲魚の多様性に対応するための蓄養技術普及促進体制の構築」の成果移転に取り組みました。

関係者の皆様方の熱意・ご努力により、高鮮度を謳った新たなむき身かき商品が発売されました。また、漁獲魚を低塩分海水に収容することにより歩留まりを高めて蓄養して活魚で店頭まで運搬し、その場でめて高鮮度保証の新たな商品展開も開始されました。更に、実施中の開発研究と事前研究では、漁業協同組合や水産事業者、企業の方々との連携により、生産現場において実証試験を実施することが出来た他に、新たな技術開発に向けた取組体制を構築することが出来ました。

現場ニーズに応えるため、その他の分野では調査研究や競争的資金の活用等により取り組むこととしています。また、県民の安心安全と水産事業者等の生産基盤確保については、赤潮・貝毒プランクトン調査、水質環境調査、魚類資源調査、疾病対策を行政支援事業として実施しました。

以上の取組みを行うに当たりご協力、ご支援いただいた多くの関係者の方々に深く感謝いたしますとともに、農林水産局水産課と農林水産事務所水産課、総合技術研究所及び所内の他センターとの連携により、県内産業の振興及び県民の安心安全、生産基盤確保に向けて職員一丸となって取り組めますので、今後ともご支援たまわりますようお願い申し上げます。

平成26（2014）年6月

広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センター長

目 次

1	組織及び職員・職員の異動	1
1)	職員の配置	1
2)	職員の異動（平成 25 年 4 月 1 日）	1
2	試験研究等課題一覧	2
1)	開発研究課題	2
2)	事前研究課題	2
3)	研究成果移転促進事業	2
4)	探索研究課題	2
5)	事業課題	2
6)	競争的資金研究課題・受託研究課題	3
3	試験研究結果の概要	4
1)	開発研究課題	4
	特殊 LED 照明が県内の多くの産業に波及するための研究	4
	地域ブランド化に結びつくウマヅラハギの蓄養・養殖技術の開発	5
2)	事前研究課題	6
	殻付かきの高付加価値化技術の開発	6
3)	研究成果移転促進事業	8
	むき身かき鮮度保持技術の成果移転促進	8
4)	探索研究課題	9
	江田島メバル技術移転に関する基礎的研究	9
	田総川における灰塚湖産アユの再生産機構に関する基礎的研究	9
5)	事業課題	10
	水産資源回復対策総合推進事業（広域連携資源増大対策事業）	10
	漁場環境総合監視事業・赤潮貝毒漁場監視事業	12
	水産業技術指導事業	14
6)	競争的資金研究課題	16
	漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業	16
7)	受託研究課題	18
	メバル・カサゴ親魚養成技術開発研究	18
	新規交配系アユ等の放流後の漁獲特性について	18
4	技術支援関連業務の概要	19
1)	試験研究等に関する企画調整	19
2)	技術支援関係	19
3)	広報活動	21
4)	その他	24
5	観測資料	25
1)	定時観測結果（平成 25 年 1 月～12 月）	25
2)	漁場環境観測結果	26

平成 26 年（2014 年）6 月

発行 : 広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター
技術支援部

〒737-1207

広島県呉市音戸町波多見 6 丁目 21-1